

会議顛末書

記録者 落合 洋輔

	市長	副市長	部長	課長	課長補佐	主係 査長	グループ員
供 覧		/					
件 名	令和3年9月副部長会議						
年 月 日	令和3年9月22日（水）						
時 間	午前9時～午前10時50分						
場 所	附属棟2階会議室						
欠 席 者	なし						
内 容	<p>1 4・5・6歳児の遊び場（居場所づくり）について 資料に基づき、こども家庭課より説明を行った。</p> <p>《主な意見・質疑》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アンケートは回答率が何パーセント程度になれば有効と考えてよいのか。 ⇒ 回収した標本数が500程度集まれば、一定の信頼性が確保できると言われている。 ・ なぜ遊び場としてサプラを選んだのか。 ⇒ 2020年8月にイトーヨーカ堂と地域包括連携協定を結んだことがきっかけである。 ・ なぜ実施期間を6月から10月にしているのか。また、入場料全額補助を1回のみとする理由は。 ⇒ 実施期間については、アンケートの中で夏休みの遊び場の提供が欲しいという意見が多かったため。入場料の補助については、まず施設を利用してもらうというきっかけ作りという意味で、初回1回のみとしている。今後は、クーポン券で利用料の補助を行い、継続的に遊び場を使っただけのようにしたいと考えている。 ・ 市が利用料援助をし、遊び場への人流ができることでクラスターの発生も懸念されるが感染対策はしているのか。 ⇒ 施設の指針に基づいて感染対策を取っている。こどもまつりでは何千人もの参加者が特定日に集中してしまうが、当事業は利用者が行きたい時に行けるため、分散することで感染対策にもなっている。 ・ 消毒等の感染対策も負担が大きいのではないか。 ⇒ 消毒作業による人件費も多くかかるため、チケットの料金が高く設定されている。 ・ 子どもまつりの代替として、民間活用やサプラの有効活用、人件費削減の面からすれば良い案ではあるが、事業化するにはまだ内容の細かな検討が必要と思われる。 ⇒ 改めて事業内容を検討する。 ・ 代替案は他になかったのか。 ⇒ 小学校跡地を活用することも考えたが、管理が難しいことから断念した。 <p>2 龍ヶ崎市若者・子育て世代住宅取得補助金制度の令和4年度以降の方向性について 資料に基づき、シティセールス課より説明を行った。</p> <p>《主な意見・質疑》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市の予算で、たつのこ産直市場の商品券を交換することについては好ましくない 						

- と監査事務局と会計課から指摘を受けたことがあるため、現実的には難しいと思う。
⇒ 担当課と更に調整し整理したい。
- ・ 市外に転出してしまう人も多いようだが、何か働きかけは行っているのか。
⇒ 市民に対してはシビックプライドの醸成を行っている。また新採職員に対しても研修の際に市の魅力を発信しており、徐々に浸透してくると考えている。
 - ・ 補助の金額を増やしたからといって人が来るわけではないので、住みたいと思ってもらえることが大切である。また、たつこの産直市場の商品券交換は難しいかもしれないが考え方は良いのではないか。
⇒ 令和2年度の実績では172件のうち新築102件、建売42件、中古28件となっている。
 - ・ 補助制度の利用の傾向はどうか。
⇒ 直近で平成31年度から令和2年度にかけて20件程増加している。また、事業開始年度の平成27年度の実績は102件だったが、昨年度の実績は172件となっている。
 - ・ 制度開始当初は住宅メーカーにも営業を行っていたが、今も行っているのか。
⇒ 牛久市、龍ヶ崎市の不動産業者へのチラシの配布、住宅メーカーへの資料の配布のほか、各事業者への直接の説明も行っている。
 - ・ 利用者は補助制度をどう知ったのか。
⇒ 市内在住者の利用が多いことから、広報紙や市のホームページで知った方が多いと思われる。また、住宅メーカーから知ったという方も比較的多い。
 - ・ 特産品の金額はどれくらいを想定しているのか。
⇒ 今後、検討する。
 - ・ 担当課の手間が増えてしまうが、市内で買い物したら領収書を提出してもらい、償還払いで行えば、外部との調整は少なくなってくるのではないか。
⇒ 今後検討する。

3 第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プランの計画期間の延長及び施策の振り返りについて
資料に基づき、企画課より説明を行った。

《主な意見・質疑》

- ・ 施策の振り返りについて、具体的にどういった点を確認すべきか。
⇒ 方向性については誤認もあるかもしれないので、課題や今後の方向性の部分について各課等で確認していただき、擦り合わせをしたい。
- ・ D評価となっているものの評価の妥当性は。
⇒ 当初の目標設定が適切だったのか、という面もあるが、このような結果であったという事実は示さなければいけないと考えている。
- ・ KPIという概念が急激に広まった中での計画策定だったので、数字のベース値や目標値設定は今後の改善が必要と考えている。
⇒ 次期最上位計画で数値目標の設定やKPIの在り方については、改めて、考え直す必要があると思う。

4 その他

- ・ 特になし。

要措置事項			
情報公開	<input type="checkbox"/> 公開	非公開（一部非公開を含む）とする理由	(龍ヶ崎市情報公開条例第9条 号該当)
		公開が可能となる時期（可能な範囲で記入）	年 月 日